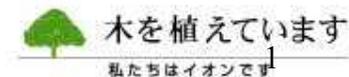




持続可能な社会の実現をめざして イオンの廃棄物削減の取り組み

2016年10月25日
イオン株式会社
グループ環境・社会貢献部
金丸 治子



方針

私たちイオンは、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」という基本理念のもと、多くのステークホルダーの皆さまとともに、持続可能な社会の実現を目指します。

取組みにあたっては、「低炭素社会の実現」、「生物多様性の保全」、「資源の有効利用」、「社会的課題への対応」を柱とし、グローバルに考え、それぞれの地域に根ざした活動を積極的に推進してまいります。

2011年3月1日制定

重点課題

重点課題①

低炭素社会の
実現



重点課題②

生物多様性の
保全



重点課題③

資源の
有効利用



重点課題④

社会的課題
への対応



取組

2

店舗で

商品で

お客さまとともに

えています

CO₂を減らそう

低炭素社会の実現

イオンのecoプロジェクト

2012年より開始
2020年度に向けたエネルギー方針



太陽光パネル

2004年より開始
全国1,044店舗(2015年2月末現在)
発電能力 合計55,868kW



スマートイオン

2013年より開始
地域と協働して、
エネルギーの効率的な
利用や防災対応を行う
次世代の店舗



LED照明

全国約1,200店舗の基本照明。
スポットライトを
順次LED照明に変更



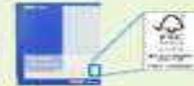
大大

自然の恵みを守ろう

生物多様性の保全

FSC®認証

2008年より開始
森を守るために適切に管理
された木を原料とした商品



MSC認証

2006年より開始
持続可能な漁業で獲られた
水産物(天然魚)



ASC認証

2014年より開始
責任ある養殖により生産
された水産物(養殖魚)



植樹活動

「イオンふるさとのおまじゆ」
「ECCO」イオン環境財団の協賛活動

1991年より開始
お客さまとともに1,086万本植樹
(2015年2月末現在)



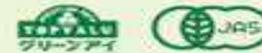
イオン チアーズクラブ

1996年より開始
子どもたちに環境学習や体験の場を提供
約430クラブ、約7,600人の
子どもたちが参加(2015年2月末現在)



トップバリュ グリーンアイ

1993年より開始
安全・安心で環境にやさしい
農・水・畜産物を食べへ



小学生の田んぼ活動

2008年より開始
お米づくりを通じて自然の恵みや
食の大切さを学ぶ



買物袋持参運動

1991年より開始
レジ袋削減枚数24億825万枚(2014年度実績)



マイオー・マイエコネット



ごみリレー

店頭資源回収

1991年より開始
紙パックや食品トレイなどの回収ボックスを設置

2014年度実績(連結子会社中の23社の合計)

紙パック 約1億3,819万本	食品トレイ 約3億6,783万本
アルミ缶 約2億7,136万本	ペットボトル 約1億3,823万本



資源を大切に使う

資源の有効利用



ご当地WAON

2007年より開始
ご当地WAONカードの
売り上げの一部を地域の活性化に
2015年2月末までの累計で
約6億9,100万円を寄付



フェアトレード

2004年より開始
トップバリュ フェアトレード
お買物を通じて国際貢献につながる商品



災害復興支援

支援総額(復興費)約55億8,037万円
内、お客さまからお寄せいただいた
募金額14億5,000万円

「3.11復興への思いをカタチに」
「イオン ふるさとのおまじゆ」(約187万,357本)
「ボランティアの集い」(約13万7,052人)



イオン 幸せの黄色い レシートキャンペーン

2001年より開始
累計で24億9,435万円相当の
品物を贈呈(2015年2月末現在)



よりよい社会をつくろう

社会的課題への対応

ビッグ チャレンジ 2020

2020年への
挑戦的な課題

店舗でのチャレンジ

- 1 エコプロジェクトの推進
エネルギー使用量原単位半減
再生可能エネルギー20万Kw
全国100箇所の防災拠点
(=「スマートイオン」の展開)
- 2 自然冷媒の冷蔵・冷凍設備を導入
(自然冷媒宣言)
- 3 **廃棄物ゼロへの挑戦**

雇用でのチャレンジ

- 7 外国人従業員の雇用の拡大
- 8 女性管理職比率の拡大50%

商品でのチャレンジ

- 4 サプライチェーンにおける持続可能な調達ガイドライン制定
- 5 お客さまのヘルシーライフを応援する商品の提供
- 6 ソーシャルブランドの強化
(社会的側面強化)

お客さまとともにチャレンジ

- 9 ネクスト1000万本(植樹から育樹、活樹へ)
- 10 商品・サービスを通じたお客さまのCO₂削減の推進

環境・社会 課題の取組

継続的な取組

環境面の課題

- ・低炭素社会の実現
- ・生物多様性の保全
- ・資源の持続可能な利用

社会的課題

- ・地域社会への還元
- ・次世代育成
- ・公正な事業慣行
- ・消費者課題
- ・人権、労働慣行

サステナブル経営の実現へ

「廃棄物ゼロ」
コンセプト

「リデュース」「リユース」「リサイクル」の3Rの手法を活用して、
廃棄・燃焼され、埋め立てに回るゴミをゼロにしていきます。
取組みにあたって、お客さまをはじめとするステークホルダーと連
携し、資源循環型社会の構築に寄与します。

食品の
「廃棄物ゼロ」
の取組



店舗・商品を通じて:

見える化、ISO14001、廃棄売変削減、分別
・リサイクル等を通じて、店舗と商品のサプライ
チェーンの食品廃棄物を削減



お客さまとのコミュニケーションを通じて:

食育や店頭キャンペーンを通じて、お客さまと
共に食品廃棄物を削減



地域と共に:

地域のステイクホルダーと連携して、
リサイクルループの構築や、フードバンク等への
寄付を通じて食品廃棄物を削減

フードバンク
「取組方法について」

下記の仕組みの構築を推進し、整った地域から取組を開始。

- ・安全性 : 安全に利用されていることを確認。
- ・トレーサビリティ: どこで、何に活用されているか把握。
- ・遵法: 資源の取り扱いにあたり法律を遵守することの確認。
- ・環境負荷: リサイクルプロセス全体での環境負荷に配慮。

木を植えています
私たちはイオンです

～「廃棄物ゼロ」への取り組み～

店舗での取り組み

店舗で「リデュース」「リサイクル」の取り組みを推進し、食品廃棄物の削減をしています。

Reduce
へらす

イオンリテール株

食品廃棄量の削減

- 実績の「見える化」ワースト部門にてご入れ、原因追究
- 発注、見切りの精度の向上、試食の拡大
- 前日の廃棄量を朝のメンバーに写真で伝えその日の製造計画に活かす
- 商品価値を高めるための取り組み
鮮魚士、惣菜マスター等社内資格の取得推進を通じて商品化技術の向上



Reduce
へらす

Recycle
再生利用

イオンモール株

「見える化」による削減取り組み

- テナントにもご協力いただき、ごみを基本17分別し、可能なものをリサイクルしています。
- 分別種類ごとに計量機で測定し、計量シールを貼付。ごみの量を把握し、見える化に取り組んでいます。

2014年度生ごみリサイクル率 **88.3%**



Recycle
再生利用

イオングループ全体

廃食油・魚のアラのリサイクル推進

デリカの油や魚のアラを回収し、リサイクルしています。

廃食油リサイクル **100%**



生ゴミから資源へ

Recycle
再生利用

マックスバリュ東海株

天かすのリサイクルの取り組み

惣菜を製造する際に発生する「天かす」「フライかす」をリサイクルする取り組みを100店舗で開始しています。

2014年度リサイクル量 **307.2t**

リサイクルの流れ



油、天かすを精製します。 → バイオディーゼル燃料、肥料・飼料にリサイクルします。

生ゴミから資源へ

環境・社会への取り組み

～「廃棄物ゼロ」への取り組み～

地域とともに

地域のステークホルダーと連携して、リサイクルループの構築等を通じて食品廃棄物を削減しています。



お客さまとのコミュニケーションを通じて

食育や店頭キャンペーンを通じて、お客さまと共に食品廃棄物を削減しています。



オリジン東秀

管理栄養士からバランスの強い食卓について参加型の講座や食育などの食育教育を実施しています。



イオンアースクラブ

農産物で再利用する工場見学や、食品廃棄物を減らして作った土の調製の工場見学などを実施しました。

環境・社会への取り組み

(1) 事業で発生する食品廃棄物削減の取組

① 食品廃棄物削減の取組:

i) 廃棄売変率(廃棄売変額 / 売上額)の削減

(例) イオンリテール(株)

ISOの全社目標として取組む

- ・実績の「見える化」ワースト部門のてこ入れ、原因追究
- ・発注、見切りの精度の向上、試食の拡大
- ・前日の廃棄量を朝のメンバーに写真で伝えその日の製造計画に活かす
- ・商品価値を高めるための取組み
 - ← 鮮魚士、惣菜マスター等社内資格の取得推進を通じて商品化技術の向上



①食品廃棄物削減の取組:

ii)「見える化」による削減取り組み

(例)イオンモール(株)

「何を、どこで、どれだけ廃棄しているか」を明らかにし、課題を明確化、削減につなげる。

- ・テナントに協力を要請。17分別に分別し種類ごとに計量機で測定後計量シールを添付、所定の保管場所に保管。
- ・分別されたごみのうち、可能なものはできるだけリサイクルする。:2014年度生ごみリサイクル率88.3%



②リサイクルの推進

廃棄物の分別の徹底

i) 廃食油・魚アラのリサイクル委託推進
(廃食油は100%リサイクル)

ii) 生ごみのリサイクル業者への委託推進
→ 肥料、飼料、油、油脂製品など



①食品リサイクルループ構築

地域で関係

地域で完結する循環型社会の構築



イオンアグリ創造株式会社

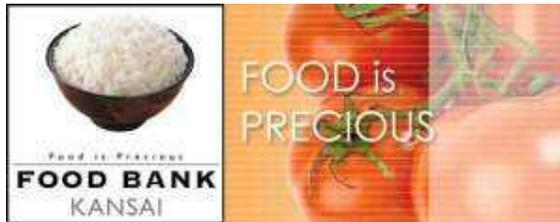


- ・安全・安心への取組み
- ・環境保全
- ・新鮮・お手頃価格
- ・地域の皆さまとともに

地域・グループ企業で関係、一気通貫型のループ



② フードバンク



MV西日本・トップバリュ
フードバンク関西への協力



「黄色いレシート」の団体として
フードバンクを登録



イオンモール柏 柏環境フェスタでの
フードドライブ（会場提供）



イオンタウン館山
フードバンク千葉の勉強会
（会場提供）

①店頭等でのイベント、情報発信



イオン北海道
啓発イベント



店内ポスター掲示



②教育・啓蒙活動



カスミ：「弁当の日」食育事業



【イオンタウン佐沼】
市の取組に協力、毎月
11日にお客さまから廃
食油を回収
→バイオディーゼルの
精製

イオンチアーズクラブの
子どもたちがリサイクル
工場を見学

 木を植えています
私たちはイオンです

AEON Corporate Citizenship 3.コミュニケーション(フードロス削減キャンペーン)

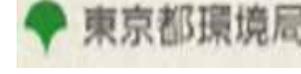
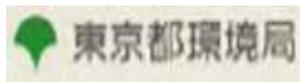
東京都との取組を契機に、コンテンツをモデル化し、コミュニケーションの機会を拡大

実施日:2月19日(金)・・・イベント / 2月19日-21日・・・店頭企画 場所:イオン葛西店
主催:フードロス・チャレンジ・プロジェクト、東京都 協力:イオン(株)、イオンリテール(株)他

売場企画

①上手に買う!フードレスキュー企画

- ・惣菜の見切り商品をポジティブ買ってもらう訴求実施
- ・デイリー商品の選び方を考えてもらう訴求実施
(動画、POP、シール等でのPR)



イベント企画

①セレモニー

- ・挨拶:イオンリテール(株)VIP、東京都VIP
- ・講演:フードロスチャレンジプロジェクト
(フードロスを減らす暮らしのヒント)



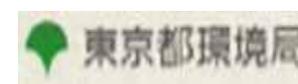
②防災用食品のローリングストック

- ・賞味期限前に使い回しながら備えていく提案
(19日、20日の5%オフを活用して訴求)



②ワークショップ

- ・ごちそうとぼうさい企画

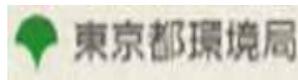


- ・食育企画
～野菜を題材に～



小学校との連動企画

- ・もったいない鬼ごっこ
(近隣小学校で実施)



③展示

- ・イオングループの
フードロス削減の取組紹介



AEON Corporate Citizenship フードロス削減キャンペーン（売場展開事例）



木を植えています
私たちはイオンです

フードロス削減キャンペーン

イオンはフードロス・チャレンジ・プロジェクトの活動に賛同し、
フードロスの削減に共に取り組んでいます。

世界の食べ物の
1/3が廃棄されています。
*その量、年間約13億トン。

FOODLOSS CHALLENGE

つれてって!

買い方でも、食料廃棄は減らせます。

それ、
フードレスキュー



※本州・四国のイオンで実施しております



ボクのついた商品を買うことで!

値引きシールと一緒にメッセージ入りのシールを商品に貼り、期限のせまった商品から順に買って、食べてもらうように呼びかけます。



既存の値引きシール



既存の値引きシール+
つれてってシール



期限のせまった商品から選ぶ、先に食べる。

それも、食料廃棄を減らすために私たち個人ができる

フードレスキューです。



私たちはイオンです

ご清聴ありがとうございました。

AEON



木を植えています

私たちはイオンです



木を植えています

私たちはイオンです